



地球はつづく、
化学でつなぐ!

 TOAGOSEI

2024年12月期第1四半期 決算説明資料

 東亞合成株式会社

2024年5月13日

1. 2024年12月期第1四半期業績 P.3～
2. ESGの取組み P.9～
3. 参考資料 (サブセグメント 対前年売上高) P.12～

2024年12月期第1四半期業績

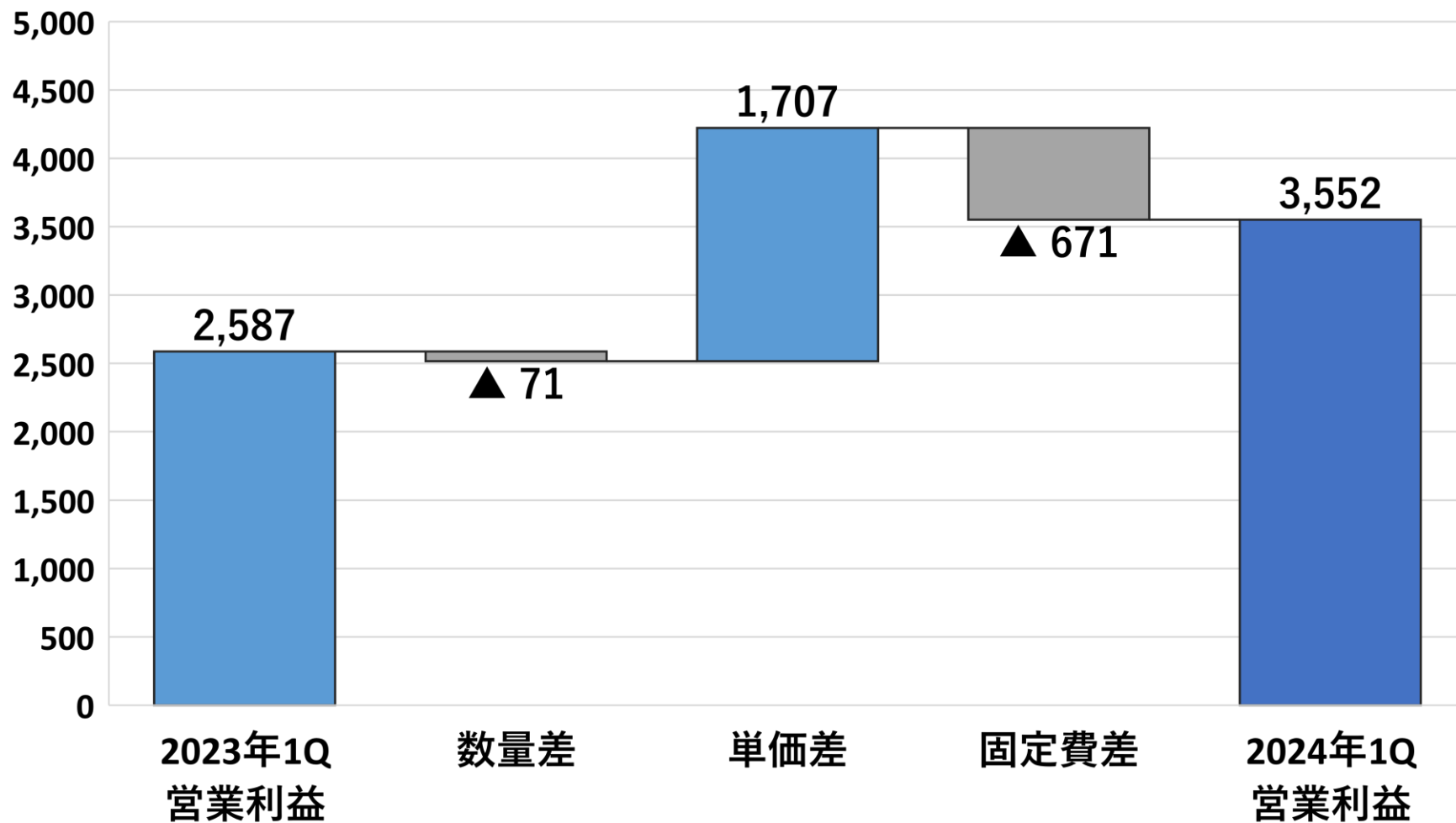
	2023年1Q	2024年1Q	増減	増減率
売上高 (百万円)	38,198	39,014	816	2.1%
営業利益 (百万円)	2,587	3,552	965	37.3%
営業利益率	6.8%	9.1%	2.3P	—
経常利益 (百万円)	2,974	4,027	1,053	35.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	2,185	2,717	531	24.3%
1株当たり四半期純利益 (円)	18.18	23.60	5.42	29.8%

※連結の範囲は変更なし（連結子会社 19社、持ち分法適用会社 2社）

營業利益增減分析

2024年1Q 3,552百万円 前年比 965百万円

(百万円)



連結業績（部門別）

（百万円）

売上高	2023年1Q	2024年1Q	数量差	単価差	増減額
	A	B			B - A
基幹化学品	17,243	17,875	205	426	631
ポリマー・オリゴマー	8,525	8,523	▲180	179	▲1
接着材料	2,680	3,157	271	205	476
高機能材料	2,517	2,534	25	▲8	16
樹脂加工製品	6,775	6,465	▲462	152	▲310
その他・調整額	455	459	3	0	3
合計	38,198	39,014	▲137	954	816

（百万円）

営業利益	2023年1Q		2024年1Q		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	1,165	6.8%	1,961	11.0%	795
ポリマー・オリゴマー	809	9.5%	1,090	12.8%	281
接着材料	▲116	▲4.3%	77	2.4%	193
高機能材料	478	19.0%	302	11.9%	▲176
樹脂加工製品	283	4.2%	292	4.5%	9
その他・調整額	▲34	—	▲172	—	▲138
合計	2,587	6.8%	3,552	9.1%	965

連結損益計算書(営業外損益・特別損益)

(百万円)

営業外損益	2023年1Q	2024年1Q	増 減
受取利息・配当金	112	359	247
持分法による投資利益	81	49	▲32
為替差益	30	117	87
固定資産賃貸料	49	46	▲3
雑収入	229	17	▲212
支払利息	▲32	▲35	▲3
環境整備費	▲25	▲30	▲4
遊休設備費	▲3	▲3	0
雑支出	▲55	▲45	9
合 計	387	475	88

(百万円)

特別損益	2023年1Q	2024年1Q	増 減
投資有価証券売却益	—	—	—
固定資産売却益	—	6	6
補助金収入	72	59	▲12
固定資産処分損	▲42	▲398	▲355
災害による損失	—	▲29	▲29
投資有価証券評価損	—	—	—
合 計	29	▲361	▲390

※「災害による損失」は2024年1月に発生した能登半島地震による損失額です。

為替レート	2023年 3月末	2023年 12月末	2024年 3月末
円/USD	133.53	141.83	151.41
円/THB	3.91	4.13	4.16

ナフサ価格	2023年 1-3月平均	2024年 1-3月平均
円/kl	66,500	72,500

連結貸借対照表

(百万円)

	2023年 12月末	2024年 3月末	増 減
流 動 資 産	134,860	125,118	▲9,741
現金・預金	39,108	33,392	▲5,715
受取手形・売掛金	51,102	48,012	▲3,090
有価証券	17,000	15,000	▲2,000
棚卸資産	24,792	25,050	258
その他	2,904	3,712	808
貸倒引当金	▲47	▲50	▲3
固 定 資 産	137,425	146,415	8,990
有形固定資産	96,532	99,520	2,988
無形固定資産	1,579	1,674	95
投資有価証券	32,912	38,562	5,650
その他固定資産	6,401	6,657	256
資 産 合 計	272,285	271,534	▲751

	2023年 12月末	2024年 3月末	増 減
負 債 合 計	59,767	59,805	38
支払手形・買掛金	19,091	17,559	▲1,532
借入金	11,095	11,210	114
未払法人税等	2,281	960	▲1,321
その他負債合計	27,298	30,075	2,776

	2023年 12月末	2024年 3月末	増 減
純 資 産 合 計	212,518	211,728	▲789
株主資本	193,828	188,381	▲5,447
その他の包括利益 累計額	17,681	22,341	4,660
非支配株主持分	1,008	1,005	▲2
負債・純資産合計	272,285	271,534	▲751

自己資本比率	77.7%	77.6%	▲0.1%
--------	-------	-------	-------

ESGの取組み

E (環境)

S (社会)

2021年12月	「2050年カーボンニュートラル（実質ゼロ）」目標設定 ・2030年に2013年比50%削減（215千トン） ・2050年にカーボンニュートラル（実質ゼロ）
2022年3月	横浜市と「ごみ焼却熱有効利用実現可能性調査に関する覚書」を締結
2022年4月	「東亜合成水素ステーション徳島」開所
2022年7月	アロンアルファ発売50周年企画「夏休み工作教室」イベント実施
2022年10月	「東亜合成グループ人権方針」「東亜合成グループサステナブル調達ガイドライン」を策定
2022年12月	内閣府、中小企業庁が推進する「パートナーシップ構築宣言」に賛同
2023年1月	「従業員向け株式報酬制度」の導入、賃金改定4.0%引上げ
2023年3月	健康経営優良法人2023「ホワイト500」に認定
2023年4月	「2023年トルコ・シリア地震救援金」寄付 「シグナルペプチドーム研究」の社会連携講座を東京大学に設置
	GXリーグに参画（2022年10月に賛同）
2023年8月	「夏休み子ども化学実験ショー 2023」へ出展
2023年12月	「子供の未来応援基金」「一般財団法人あしなが育英会」寄付(2021年から継続)
2024年1月	賃金改定6.1%引上げ 能登半島地震「被災地全域（日本赤十字社）」「富山県（日本赤十字社富山県支部）」「富山県高岡市」寄付
2024年3月	健康経営優良法人2024に認定

G (ガバナンス)

2020年3月	取締役を対象に譲渡制限付株式報酬制度を導入
2021年10月	「東亜合成グループ コーポレートガバナンス基本方針」改訂 <ul style="list-style-type: none"> ・政策保有株式の貸借対照表への計上額が連結純資産の10%程度となることを目途にする ・英語開示の推進 決算短信の全文開示(2021年12月期～)
2022年3月	社外取締役を初めて過半数とする(社内6名、社外7名)
2022年4月	東京証券取引所「プライム市場」への移行
2022年8月	英語開示の推進 コーポレート・ガバナンス報告書の全文開示
2023年8月	「PBR改善に向けた取組み」を公表 <ul style="list-style-type: none"> ・2027年にROE8%を達成し、PBR1倍超えを目指す ・期間総還元性向100%(2023~2025年)の株主還元実施。
2023年12月	政策保有株式の貸借対照表への計上額 2023年12月末現在 : 13.7% (保有株残高29,212百万円) (2021年売却実績 19銘柄、売却価額2,910百万円) (2022年売却実績 9銘柄、売却価額3,058百万円) (2023年売却実績 13銘柄、売却価額5,228百万円)

スポーツ振興への取組み



私たちは卓球「Tリーグ」を応援しています。



私たちは **IWAKI FC** を応援しています。

參考資料

サブセグメント対前年売上高①

基幹化学品事業	前年同期比	増減理由
	24年1Q	
無機化学品	105%	原燃料価格に応じた販売価格改定により増収
アクリルモノマー	101%	アクリル酸の販売数量増により増収
工業用ガス	120%	原燃料価格に応じた販売価格改定により増収

ポリマー・オリゴマー事業	前年同期比	増減理由
	24年1Q	
ポリマー	98%	販売数量減により減収
オリゴマー	106%	ディスプレイ関連向けなどへの販売数量増により増収
凝集剤	98%	海外向けの販売数量減により減収

サブセグメント対前年売上高②

接着材料事業	前年同期比	増減理由
	24年1Q	
瞬間接着剤	120%	日本および米国での販売数量増により増収
機能性接着剤	118%	車載用電池向けの販売数量が大幅に増加し増収

高機能材料事業	前年同期比	増減理由
	24年1Q	
無機機能材料	121%	抗菌剤の販売数量増により増収
高純度無機化学品	98%	半導体市況低迷の影響を受け減収
新規開発品	8%	メディカルケア製品の販売数量減により減収

サブセグメント対前年売上高③

樹脂加工製品事業	前年同期比	増減理由
	24年1Q	
管工機材	96%	住宅着工戸数低迷による販売数量減により減収
ライフサポート	97%	全般的な販売数量減により減収
エラストマー コンパウンド	82%	顧客の在庫調整による販売数量減により減収



地球はつづく、
化学でつなぐ!

 **東亜合成**

-
- 業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。
 - 本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。